

建築主：株式会社千葉牧場
 設計：株式会社TAIMATSU 一級建築士事務所
 施工：株式会社湯川工務店
 所在地：千葉市若葉区富田町983-1

～老朽化した牧場施設の価値を引き出すデザイン～

千葉ウシノヒロバ



AllSite

ずっと前からあったような牧場の柵の続く道がのどか。先細り傾向にある乳牛育成事業をキャンプ場収入で支えるという地域ベンチャーだ。どこの農家も乳牛1頭を飼っていた時代の、当たり前小さく循環していた地域の仕組みこそ、サーキュラーエコノミーではないかとほっとさせられた。

人の集う大屋根イベントスペースは、旧牛舎にいたずらに手を加えず。受付の建物もあえてくたびれた倉庫感を演出。他方、新築牛舎では、アニマルウェルフェアを勉強し尽くした溝部礼土さんが、人と牛の幸せな関係を積極的に提案している。キャンプ場を訪れた人たちは、さながら神社のように鎮守の森を背にし、高みに堂々と立つ牛舎にいる牛たちの気配を拝む。

旧放牧場がそのままキャンプサイトに開放されていて、どこにテントを張ってもいい。川上美里さんは、オフグリッドで電気のありがたさを体感し「不便さ」を楽しむコンセプトを提案。少しだけ雨風をしのげる小屋を借りることがここでは贅

沢。とはいえ、トイレやシャワーが汚いのはイヤ。そういった現代人の要求にはしっかり応えた松尾宗則さん。三角屋根の新築トイレ・キッチン棟とシャワー棟(旧屋外トイレ)を集中させ、そこだけインフラ完備だ。

ビジネスをデザインし経営する川上鉄太郎さんと半ばフリーランス的な動きのできる建築家たちが、プロジェクトチームを組んでコンセプトを育てていくかたちが新しい。単なる建築物を超えて、人間と他の生き物たち、来歴を含めた場所との関係をデザインすること。これこそが、SDGsが真に建築デザインに求めている大転換ではないかと考えさせられた。

(岡部 明子)



牛舎



Toilet+Kitchen